資料１

これまでと今後の審議の流れ

平成 17 年 10 月 3 日　小委員会①
治水に関する特徴と課題

平成 17 年 10 月 12 日　小委員会②
水利用及び環境に関する特徴と課題

平成 17 年 11 月 30 日　小委員会③
補足説明

・昭和 46 年工事実施基本計画について
・新たな治水計画策定に向けての考え方、課題
・流水の正常な機能を維持するため必要な流量の設定
・河川敷の利用のあり方について
・維持流量の変遷について
・舟運の復活について　など

３回の審議で浮き彫りになった課題

・瀬田川洗堰の操作の考え方（全閉システムを継続するか否か）
・保津峡、岩倉峡の狭窄部の取扱い（開削するか否か）
・上中下流の治水安全度の設定（1/100、1/150、1/200 としてよいか否か）
・琵琶湖沿岸域における明治 29 年洪水の取扱い（計画対象とするか否か）
・琵琶湖の水辺環境と流域全体の水利用
・河川敷の利用と環境保全　　など

平成 19 年 1 月 12 日　小委員会④

『基本理念』の確認

淀川水系に係る重要な課題を解決するためには、関係者が、これまでに構築されてきた治水システムや水利秩序等を踏まえ、運命共同体として認識を共有することが必要。

基本理念に基づいた新たな計画の内容

基本方針本文